

(別紙2) 耐震設計上考慮していない断層に対する評価 [高浜・大飯]

1. 敷地周辺及び敷地近傍の断層・リニアメント

No.	名称	分布域	長さ <sup>1</sup>	敷地からの距離 <sup>2</sup>		活動性を否定する理由	備考
				高浜	大飯		
1	矢代リニアメント	陸域	約 3.9km	約 27km	約 13km	破砕帯は固結し岩盤すべりに切られる (Loc.1) 断層面が不鮮明で途切れる (Loc.2) リニアメント判読位置に断層なし (Loc.3)	図 1
2	中井リニアメント	陸域	約 1.9km	約 19km	約 9km	リニアメント記載位置に断層なし (Loc.1、Loc.3) 斜交する固結した破砕帯を有する断層に切られる (Loc.2) 破砕帯は固結 (Loc.4)	図 1
3	加斗リニアメント	陸域	約 1.2km ~ 約 2.7km	約 15km	約 6km	中位段丘面の分布高度に有意な差なし、海域延長部で後期更新世以降の地層に断層による変位・変形なし ( 、 ) リニアメント判読位置に断層なし ( 、 )	図 1
4	石山坂峠北リニアメント	陸域	約 3.2km	約 11km	約 13km	変位センスは正断層センスを示し、現広域応力場と整合しない (Loc.1)	図 1
5	子生リニアメント	陸域	約 0.9km	約 7km	約 13km	カタクレサイト (Loc.1) 破砕帯は固結 (Loc.2)	図 1
6	多門院リニアメント	陸域	約 15km	約 10km	約 23km	破砕帯は固結 (Loc.1、Loc.2) 変質部 (Loc.3)	図 1
7	岸谷リニアメント	陸域	約 4.0km	約 13km	約 24km	変位センスは左ずれセンス及び正断層センスを示し、現広域応力場と整合しない (Loc.1) 破砕帯は固結 (Loc.2) 破砕帯は固結 (Loc.3)	図 1
8	三浜峠リニアメント	陸域	約 1.2km	約 9km	約 23km	リニアメント記載位置付近・判読位置に断層なし (Loc.1、Loc.3) 破砕帯は固結 (Loc.2)	図 1
9	T 1 リニアメント	陸域	約 0.1km	約 2km	-	リニアメント延長線上に断層なし (Loc. T 1-1) 海域延長部で後期更新世以降の地層に断層による変位・変形なし	図 1
10	T 3 リニアメント	陸域	約 1.4km	約 1km	-	リニアメント判読位置に断層なし (Loc. T 3-1) 破砕帯は固結 (Loc. T 3-2) リニアメントに斜交する正断層 (Loc. T 3-3) 変形組織の観察結果 (Loc. T 3-4) ・舞鶴層群と青葉山安山岩類の境界付近はせん断面や礫の定向配列が認められないことから不整合面と判断。(T3-4-1) ・白灰色粘土を挟む箇所は明瞭なせん断面は認められないが、正断層センスを示し、現広域応力場と整合しない。(T3-4-2)	図 1
11	O 1 リニアメント	陸域	約 1.4km	-	約 6km	国土基本図により認識した急斜面はレーザー測量・縦断測量で認められない (Loc.O 1-1) 破砕部はカタクレサイトからなり、正断層センスを示し、現広域応力場と整合しない (Loc.O1-2) 海域延長部で後期更新世以降の地層に断層による変位・変形なし	図 1
12	O 2 リニアメント	陸域	約 1.3km	-	約 3km	リニアメント判読位置に断層なし (ピット) 破砕帯は固結 (Loc.O 2-1) 断層は中位段丘堆積物に変位・変形を与えていない (Loc.O 2-2) 中位段丘堆積物を切る断層なし (Loc.O 2-4) 中位段丘堆積物に断層を示唆する変位・変形なし (Loc.O 2-5) 海域延長部で後期更新世以降の地層に断層による変位・変形なし	図 1
13	O 3 リニアメント	陸域	約 2.5km	-	約 6km	破砕帯は固結、斜交・直交する固結した破砕帯を有する小断層に切られる (Loc.O 3-1) 青戸の入江にも後期更新世以降の活動を示唆する断層なし	図 1
14	海域の断層 (図 2 にて緑色で表示した断層)	敷地前面海域	-	-	-	海上音波探査及び他機関の海上音波探査記録の再解析の結果、後期更新世以降の地層に断層による変位・変形が認められない。	図 2

1 空中写真判読結果に基づく長さ。

2 高浜発電所3号機炉心及び大飯発電所3号機炉心からリニアメントの中心までの距離

2. 敷地の断層・破碎帯・シーム等

(1) 高浜発電所

No.	名称	活動性を否定する理由	備考
15	敷地内の破碎帯 (T2リニアメント含む)	以下の状況から少なくとも後期更新世以降に活動したものではないと判断される。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変形組織の観察結果、正断層センス、または正断層センス及び左ずれセンスを示し、現広域応力場と整合しない(一部、カタクレーサイトからなる)。</li> <li>・ 海域延長部で後期更新世以降の地層に断層による変位・変形なし。</li> <li>・ 東側海岸露頭で認められる破碎帯は固結。</li> <li>・ 変動地形なし(一部リニアメントを判読)。</li> </ul>	

(2) 大飯発電所

No.	名称	活動性を否定する理由	備考
16	敷地内の破碎帯	以下の状況から少なくとも後期更新世以降に活動したものではないと判断される。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変動地形なし。</li> <li>・ 破碎帯は固結ないし半固結、カタクレーサイトからなる。</li> <li>・ 中位段丘相当の地層(最終間氷期の地層)に変位・変形なし</li> </ul>	